

領域を広げるインクジェットプリンター

商業印刷からラベル・パッケージまで

オフセット印刷に迫る品質

MJP20MX

株式会社ミヤコシは1990年代からインクジェット機の取り扱いを開始。データプリントなどトランザクション市場への導入を進めてきた。2004年には自社開発製品のフルカラーインクジェットプリンター MJP600を発表。以降、データプリント市場にとどまらず、商業印刷をはじめ、パッケージ印刷やラベル印刷にまで製品構成を拡張している。

中でも『MJP20MX』はオフセット印刷に迫る1,200×1,200dpiの高解像度を有し、最小2ピコリットルのドロップサイズにより、インクジェット用紙以外の多様な用紙に対して“にじみ”や“裏抜け”のない高品質印字を実現。トランザクション市場にとどまらず、DMなどの商業印刷や学参物の出版印刷などグラフィック領域にも対応する高速インクジェットプリンターである。

印刷方式はピエゾ式ドロップオンデマンド。インクは新開発の水溶性顔料インクによりコート紙を含む様々な用紙への印字を実現した。

用紙の搬送部はミヤコシがウェブオフセットプレスで培ってきた高度な技術を搭載。独自の用紙搬送構造は高い安定性と高精度の印刷を可能にした。

出力速度は高速モード・1,200×960dpi時で200m/分。1,200×1,200dpi時でも160m/分と高速。これにより大量バリエーション印刷が必要な場合でも対応すること



MJP20MX

が可能となる。用紙も前処理なしでオフセット用コート紙に直接印字できるほか、ミヤコシ独自の多彩なインライン加工オプションにより、高画質で高速のフルカラーバリエーション印刷がワンパスで可能になる。

オプションには印刷機や特殊加工機の製造を手掛けてきたミヤコシだからこそ可能にしたデジタルプリンターと加工機の複合システムを、ユーザーのニーズに沿った仕様で提供。マージナルパンチやファイルパンチ、縦ミシン、横ミシン、スリッター、シートカット、折加工等に対応する。例えば、旅行パンフや学習教材向けの「バリエーション製本機」、圧着DM向けの「圧着ハガキ製造機」、書籍・コミック向けの「文庫本生産機」などカスタマイズしたシステムが可能である。

ラベル用UVインクジェット

MJP13LX-UV

ミヤコシのインクジェット技術と搬送

技術は、ラベル印刷市場にも広がっている。

『MJP13LX-UV』は、高生産のラベル用UVインクジェットプリンターで、毎分50mの印刷速度を実現する。多品種・小ロット、短納期化が進むラベル印刷市場のソリューションとして、その高いパフォーマンスが注目されている。

プリントヘッドには最新の1,200dpiUVプリントヘッドを搭載。多値液滴制御により高品質のグラデーション表現を可能にした。

一般的なUVインクは乾燥が不十分だとモノマーや光開始剤などの分解物臭が残ることが指摘されている。とくに食品や医薬品のラベルではこの残臭が敬遠されるケースが多い。『MJP13LX-UV』にはUVインク臭を抑える窒素パージ技術が採用されている。低酸素の状態ですべてUV光を照射すると乾燥性が高まり、残臭が抑制される。これにより食品や医薬品への展開が容易になる。

機械本体は全長4m、奥行き1.7mの

OPEN HOUSE2017開催へ

11月27日、28日 POD事業本部で最新機種を一堂に

ミヤコシは11月27日、28日の両日、千葉県八千代市の同社POD事業本部クリーンルームで、『OPEN HOUSE2017』を開催する。国内初出展となるフルカラーインクジェットプリンター「MJP20AX」、液体トナー方式電子写真プリンター「MDP4000」をはじめ、同社のデジタル印刷機器を一堂に見ることができる。

【展示機】

▽フルカラーインクジェットプリンター MJP20AX 国内初出展

最新のテクノロジーを駆使したプリントヘッドを採用し、高速輪転インクジェットにおける様々な運用課題を克服。次世代の輪転インクジェットプリンターを国内初披露。

▽液体トナー方式電子写真プリンター MDP4000 国内初出展

ミヤコシ独自の用紙搬送によりワンパスで表裏印刷を可能としたモデル。厚紙にも対応しカートン、パッケージ印

刷へのアプリケーション拡大も視野に。

▽液体トナー方式電子写真プリンター MDP8000

B2サイズ枚葉方式のデジタルプレス。6,000枚/時の生産性でオフセット印刷の領域をカバー。

▽液体トナー方式電子写真プリンター MDP5000

用紙向け輪転デジタルプレス。液体トナー採用の電子写真方式でインクジェットとの差別化を。

▽液体トナー方式電子写真プリンター MDP2500

フィルム基材向けの輪転デジタルプレス。高濃度白トナーを搭載し軟包装印刷に対応。

▽捺染用インクジェットシリアルプリンター MTP1800

テキスタイル向け1,800mm印刷幅のスタンダードモデル。

▽捺染用インクジェットシリアルプリン

ター MTP3400

3,400mmの広幅印刷が可能なテキスタイル向け最大のモデル。

▽ラベル用フルカラーインクジェットプリンター（水性インク）MJP13LX

シール・ラベル向けの狭幅インクジェットプリンター。水性インク採用モデル。

▽ラベル用フルカラーデジタルプリントシステム MKD13A

コニカミノルタ社の乾式トナープリンターにミヤコシの給紙・巻取を連結したモデル。

▽高速紙面比較検査システム Lekizen-Eco A3、Lekizen-Eco A0

印刷の全行程で使用できる検査システム。目視検査の限界を超え、コンピューターによる品質管理で信頼と利益を確保する。

【参加申込み】

同社ホームページ (<http://www.miyakoshi.co.jp/info/2017/3.html>) から申込用紙をダウンロードし、必要事項を明記の上、FAXする。

コンパクト設計。最小の面積で最大の生産効率を実現する。

『MJP13LX-UV』はオプションでイン

ラインの加工機『MJL13A』が接続可能。50m/分の生産性を持ち、『MJP13LX-UV』の出力スピードとシンクロする。

加工ユニットはニーズに応じて選択することができる。ホットホイル、エンボス、ラミネート、ダイロール、フレキソ、糊殺し、シーター、多列スリット、多列巻取りなど要望に応じた機械構成が可能になっている。最大巻取り用紙幅は最大342.9mm、最小152.4mm。基材厚みは60～250μmに対応する。

株式会社ミヤコシ

千葉県習志野市津田沼1-13-5

TEL 047-493-3854

<http://www.miyakoshi.co.jp/>



MJL13Aと連結したMJP13LX-UV